



家庭でチャレンジ

子どもの

わかる学力の育成をめざして

掲示用

生活

- ◎自分の計画や約束など、**家族で相談**しながら子ども自身に決めさせ、最後までやり遂げさせる。
- ◎**家族で一緒に**食事・運動を行ったり、**家族で団らん**したりする中で、学校や友だちのことを話題にして会話をする。



生活

わかる学力って何？

子どもは、今までに習得した知識や技能、様々な経験を関連づけて考え、多様な意見や解法を見いだします。思考の過程を自分の言葉で表現するとともに、他者と協力しながら課題解決に取り組み、より本質的な深い学びへ探究していく力を「わかる学力」と言います。「わかる学力」は、これからの時代に必要な力です。

家族の

対話・支え

学習

- ◎与えられた課題をこなす学習から、自分で目標を決めて取り組む学習へと発展できるように、学校と協力して、自ら学びに向かう力を身につけさせる。



学習

読書

- ◎本や図鑑、新聞などを手に取り、興味・関心や感動の幅を広げ、自分の生き方や考え方を深めるなど、読書習慣や内容を深く読み取る力を身につけさせる。

読書



◆バランスのとれた学力の育成◆

できる学力

漢字や計算、基礎的な知識や技能など、繰り返し学習しながら習得する力

わかる学力

多様な考えをつなげ、内容の理解を深め、本質を探究する力

学力の両輪

「できること」・「わかること」による**学習意欲の向上**

◆◆子どもの話に耳を傾けましょう◆◆

子どもの思いや考え、豊かな発想を引き出すような問いかけを行い、大人は傾聴と共感を心がけ、**よい聞き手**になり、**子どもの「わかる学力」を高めるため、子どもとの対話を始めましょう。**

<対話のきっかけ>

- 「それからどうしたの?」「それでどうなったの?」
 - ・子どもの話に大人が興味・関心を持ちながら、話の続きを楽しむように傾聴する。
- 「あなたはと思う?」「あなたなら、どうする?」
 - ・判断力を育成するためには、子どもに自分の意見や結論を聞いてみる。
- 「どうして?」「なぜ?」
 - ・自分の考えの根拠をはっきりさせることが大切です。自分の思いや考えの理由を聞くように心がける。